

令和5年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[14] 教職の世界<中央会場> (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授 伊藤 成年 (計1名)
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方針	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数: 40名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<b>第1講: 「教職の世界とその魅力」</b>			
<10月14日(土) 10:30~12:00>			
自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が得られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができますようにします。(公立小学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
<b>第2講: 「これからの(近未来の)学校教育と教師の役割」</b>			
<10月14日(土) 13:00~14:30>			
文部科学省は目指すべきこれからの学校教育の姿を「令和の日本型学校教育」として、全ての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図るとしています。そのために、高速大容量のネットワーク環境と児童生徒一人ひとりに学習用端末を2020年度中に導入整備しました。このようなICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)環境の整備が学校教育にどのような変化をもたらすのか、また、教師の役割・働き方は変わるのか。近未来の教育の姿について考察します。			
<b>第3講: 「『授業』という営みー授業ビデオ(教育専門監)の視聴を通して優れた授業の条件を探るー」</b>			
<10月21日(土) 10:30~12:00>			
学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか等、ねらいや手立て・評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。児童生徒の学びを深める授業の在り方について、授業力に秀でた教育専門監の授業ビデオの視聴を通して考察し、児童・生徒を引きつける教師の態度や振る舞い、学習意欲の引き出し方等について学びます。(公立中学校採用の若い教員による講話40分程度を含む)			
<b>第4講: 「学習指導案の見方と学習指導案(略案)の作成、模擬授業の提示」</b>			
<10月21日(土) 13:00~14:30>			
教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案をもとに、魅力的な授業を展開するための方法等(主に「授業構想」)について学ぶとともに、児童生徒の興味・関心を引きつける授業(特に導入部分)の在り方・演じ方について具体的に考察します。また、特定教材の導入部分の学習指導案(略案)をグループで協議しながら作成し、それを練り上げ発表します。(グループ協議・演習)			
<b>第5講: 「秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について」</b>			
<10月28日(土) 13:00~14:30>			
全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活状況、家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような成果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。			
その他	14日、21日は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~13:00)		
テキスト	なし(講義資料を配布する)。		
参考文献			
関連科目			